



# 心に翼が生えるまで

広島工業大学高等学校 通信制課程[エンカレッジコース]  
教頭 井上 薫

## 自然の中で学ぶ森の学校

今年は、やけに厳しい夏でしたが、ここ沼田の森にもやっと秋がやってきました。栗の実がはじけ柿は色づき、動物たちの冬ごもりの準備が始まっています。

春4月15日、広島工業大学高等学校通信制課程[エンカレッジコース]は第1回目の入学式を挙行し、最初の入学生27名を迎えてスタートしました。それから約半年が経過し現在後期日程に入り、新たに3名の転入生を加えて、30名の沼田の森での新しい生活が日々営まれています。



四季折々の花が咲き、小鳥がさえずり、木々の葉が太陽の光に反射して美しく輝き、さわやかな風がわたる「森の学校」。10月23日には沼田校舎の収穫祭「秋の祭り」に参加し、地産地消のレストラン「エンカレカフェ」をオープンしました。

## 通学する通信制

通信制の学校の学習スタイルは通常、自宅でレポートを書き学校に郵送すると添削されて自宅に返送されてくるという形ですが、本校はそうではなく「通学する通信制」をコンセプトにしています。

通信制高校に在籍する、多くの不登校を経験した子どもたちは、通学しなくて

よい通信制では高等学校卒業の資格を取得することはできても、不登校の状態を改善することはできないのではないかと考えています。現在全国の引きこもりの数は70万人にも達し、その平均年齢は30歳を越えているといわれています。

本校では、少なくとも週に3日(Aコースは月・火・水、Bコースは水・木・金)は登校して授業を受け、レポートも学校で作成します。これが「エンカレッジコース」の基本的な学習スタイルです。そして最終的には各自が毎日学校に登校できるようになることを目指すこと、私たちはこれを社会的自立へ向けての「乗り越えの作業」と呼んでいます。

不登校や引きこもりを経験してきた本校の生徒たちですが、前期日程の出席率は本人たちの決意や努力もあり、89%にのびりました。

## 学びのおもしろさ

既存の学校教育になじめずいたり、通学できていても現在の学びに心がときめかない人たちは相当の数のにぼるものと思われれます。

「記憶する」ことよりは、「考える」ことや「体験する」ことの方が大切なので



はないかという我々の問い、これがエンカレッジの授業のブレない根幹をなしています。携帯電話やゲーム、インターネット等のバーチャルな仮想空間で生活している子どもたちを現実の世界に引きずりだし、人や動物や自然とふれあうという体験をたくさん準備しました。



土に触れ土を形にしていくなかで土の冷たさや重みを感じる「陶芸」、ヤギや馬の飼育を通じて生命について考える「保健」、地域の祭りに参加する「生活」、ボランティア活動で貴重な体験をする「家庭」、パラを育てたり、畑を耕し野菜を栽培することを通して植物の生態を観察する「生物」、カナダ出身のダニエル先生とアウトドアで鮭の燻製作りを楽しむ「英語」、尾瀬の自然観察やホテルの里の再生プロジェクトに取り組む「課題研究」、冒険の森で、チャレンジする心・信頼する心・尊敬する心をはぐくむTAP(鶴アドベンチャープログラム)、そして失われた気力や体力を回復させる「体育」(乗馬やマウンテンバイク)等々、私たちは、人間関係構築と五感覚醒のためのプログラムにより、社会人として望まれる人間力を育てていきたいと思っています。そしてこのプログラムを実践することによって、これらが自然に身に付くような仕掛けができ



ています。たとえば、専属のカウンセラーが「国語表現」という授業の中であつかう「私」発見のための自分史作成は、それ自体が実はカウンセリングになっていることに、生徒はたぶん気づいてはいないでしょう。

また数学や国語などの受験教科においても、教科書以外に自学自習ができるように工夫した、本校の教員が作成したオリジナルなテキスト「学習課題帳」も使用しています。そしてレポートも、先生と面談しながら作成させることで、学習に対する生徒の不安に応じてあげることができるように配慮をしています。

前期日程終了時点での単位取得率は、92%に達しました。

## スクールライフ

朝9時30分、通勤通学の喧騒から落着きを取り戻したJR五日市駅をスクールバスが出発して、アストラムライン沿いのいくつかの停留所を経て、10時10分に沼田校舎に到着します。10時20分より各教室でショートホームルームの後、10時30分から1時間目が始まり、5時間目終了の15時55分まで生徒は沼田で過ごします。



また毎週水曜日は授業はなく、午前中は学習のサポート日として各自がレポートに取り組んだり、すでに済んでいる生徒は自分の興味や関心に応じて勉強します。午後は教室を飛び出して総合的な学習の時間です。

まず20分の全校集会で全校生徒と先生方が集い、学校の運営方法について意見を交わしたり、行事の実施について話し合ったりしています。今ではエンカレッジでの大切な時間になりました。そして水曜日の目玉は何といっても「WESS(ウェス)」、13時45分からの約2時間、生徒は現在3つのグループに分かれて活動しています。

## 「WESS」とは

Wednesday Encourage Special Schoolingの頭文字をとりました。コンセプトは、ここ「沼田の森」に徹底的にこだわること。

## ：マンジャーレ Numamori Club

沼田校舎の森の中にある(とれる)食材を用いた料理を作っています。八重桜の花びらを使ったジャム、野イチゴのクレープ、よもぎの葉の饅頭、梅ジュース、三つ葉をトッピングにしたチヂミ等々、



沼田の森は食材の宝庫です。また食事を自分たちで作ること、それをみんなで分け合って食べることの楽しさを多くの生徒が実感してくれていることが、エンカレッジなりの食育につながっているのではないかと思います。

## ：沼田探検隊

小鳥の巣箱や餌台を作ったり竹でベンチを作って森の中に置いたり、森を探検したり地図を作ったり。先生たちのリクエストに応じて、職員室の電話台まで作ってくれました。



## ：ふぉとりーくらぶ

パソコン好きな生徒たちがその能力を生かして、これらWESSの活動を紹介するブログを立ち上げてくれました。

さらに後期の「WESS」は6グループに発展する予定です。

## 教育を創造するという自由

[エンカレッジコース]は、今後も教育を手作りするという私学らしい活動に取り組みながら、理念と個性をそなえた新しい「第三の学校」を目指していこうと思っています。

いつの日か、子どもたちの心に翼が生えるまで。